外務省の取り組み

外務省 経済協力局

調査計画課　國井　修

人口・エイズに関する地球規模問題イニシアティブ
Global Issues Initiative on Population & HIV/AIDS（GII）

- 1993年　地球的展望に立った共通課題
  （日米コモンアジェンダ）
- 1994年　日米首脳会議でGIIを発表
- 対象：　人口問題とエイズ問題
- ７年間で30億ドル（最終的に50億ドル）
- 国際機関やNGOとの連携強化

橋本イニシアティブ
International Parasitic Control Initiative

- 1998年　バーミンガムサミットにて橋本元総理が発表した寄生虫対策戦略
- 土壌伝播線虫（約35億人）対策を入り口
- 学校保健を切り口
- タイ・ケニア・ガーナを拠点に拡大
- 人材育成に重点
- 国際協調を重視

沖縄感染症対策イニシアティブ
Okinawa Infectious Diseases Initiative（GII）

- 2000年九州沖縄サミットにて発表
- 5年間30億ドルの誓約
- 感染症を開発の中心課題に引き上げた
- New Partnershipの動きを作る
- 世界エイズ結核マラリア基金設立の契機

基本理念

1. 開発の中心課題としての感染症への対処
2. 地球的規模での連携と地域的対応
3. 公衆衛生活動と連携させた日本の経験と役割

基本方針

オーナーシップ

自助努力なくして成功なし
我が国は黒子

パートナーシップ

効率と効果の向上

人材育成

人づくりは国づくり

研究活動

ネットワーク作り

公衆衛生活動

包括的アプローチ
セクター間の連携

IDIの対象疾患

HIV/AIDS

TB

Polio

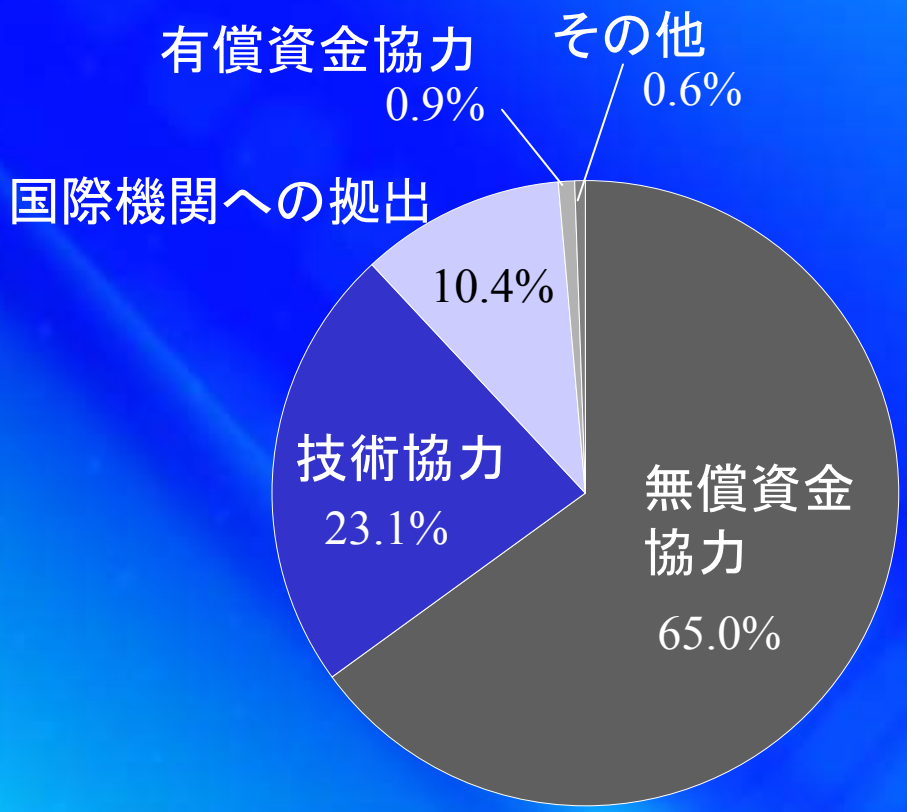
Vaccine-preventable, others

Okinawa Infectious Diseases Initiative (2000-)

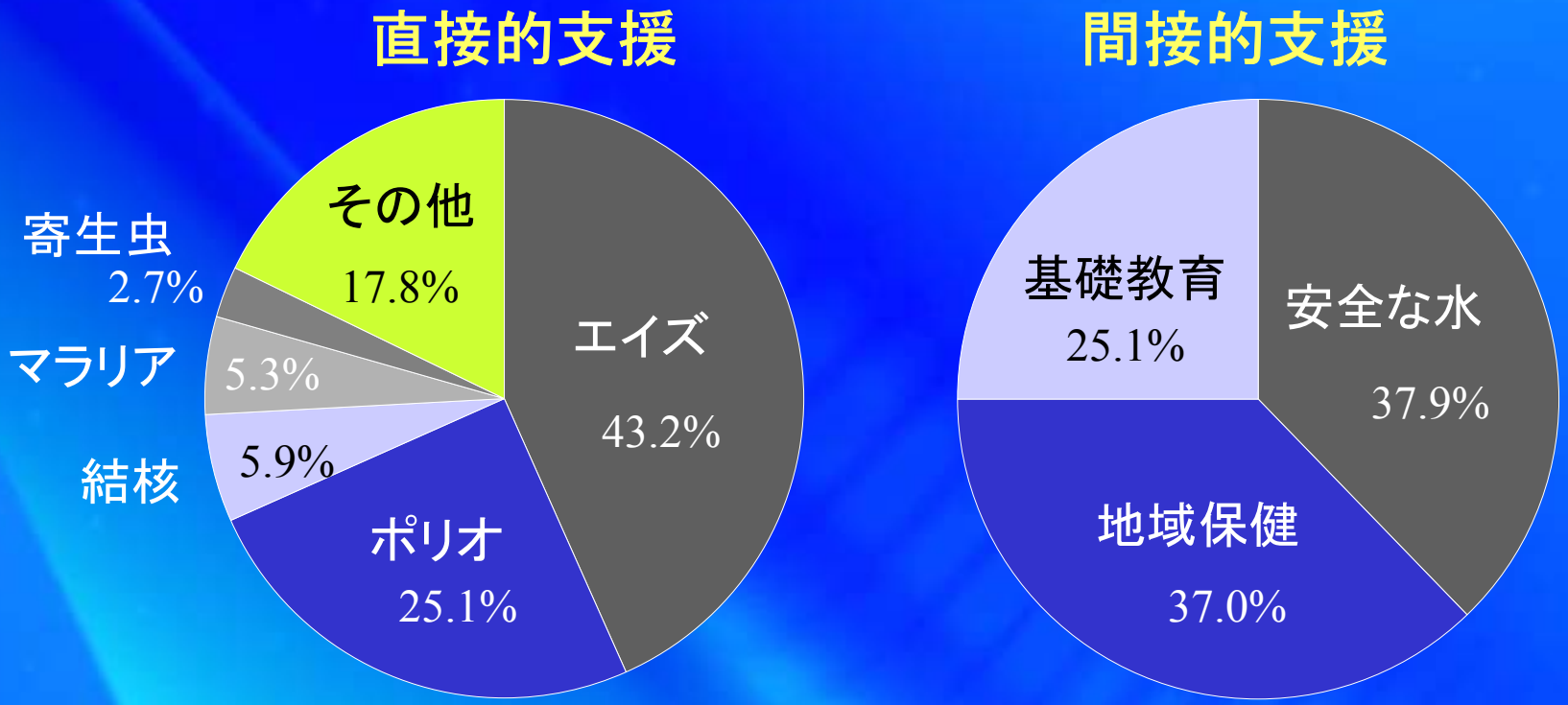
これまでの実績

- 金額:　20億ドル以上の拠出
- 援助国:　100カ国以上
- 派遣専門家:　500人以上
- 研修員受入れ:　10,000人以上
- 現地での研修:　50,000人以上

実績内訳



実績内訳


直接的支援
その他
17.8%
エイズ
43.2%
寄生虫
2.7%
マラリア
5.3%
結核
5.9%
ポリオ
25.1%
間接的支援
基礎教育
25.1%
安全な水
37.9%
地域保健
37.0%

援助アプローチ別

技術移転、人的貢献	インフラ整備	人材育成
専門家、企画調査員 政策アドバイザー 青年海外協力隊、 国際緊急援助隊	病院・診療所 検査機材、医薬品、 コールドチェーン、 ワクチン、蚊帳	現地、日本、第三国 での研修、 フォローアップ
国際社会との連携	**NGOsとの連携**	**他セクターとの連携**
WHO, UNAIDS, UNICEF, UNESCO, UNFPA, WB, ADB, USAID,CIDA, GFATM	定期懇談会 草の根無償・技術協力、 NGO支援無償など	水・衛生、教育、 栄養、WID/Gender、 インフラ事業との連携

国際機関との連携

UN： 人間の安全保障基金
WHO： ポリオ、EPI、PacELF、シャーガス病など
UNICEF： ポリオ、EPI、マラリアなど
UNFPA： リプロを通じたエイズ対策など
UNESCO： エイズ教育信託基金、人的資源開発信託基金
UNDP： 人造り基金
世界銀行： 日本社会開発基金、政策人材開発基金
アジア開発銀行： 貧困削減日本基金
USAID： 国際保健パートナーシップ
IPPF： HIV/エイズ信託基金
カーターセンター： ギニア虫撲滅計画
GFATM： 財政・運営面支援、2.65億ドル拠出

疾病別： HIV/AIDS

予防・VCT ＞ ケア・サポート ＞ 治療

検査機材供与
VCTセンター
STI対策
ハイリスク集団への啓発
安全な血液

地域・家庭内ケア
エイズ遺児支援

日和見感染症治療

広域専門家

南南協力

案件発掘、連携

連携

エイズ配慮

タイを中心とした
メコン流域への協力

JOCVエイズ隊員

GFATM、IPPF、
NGO、日米

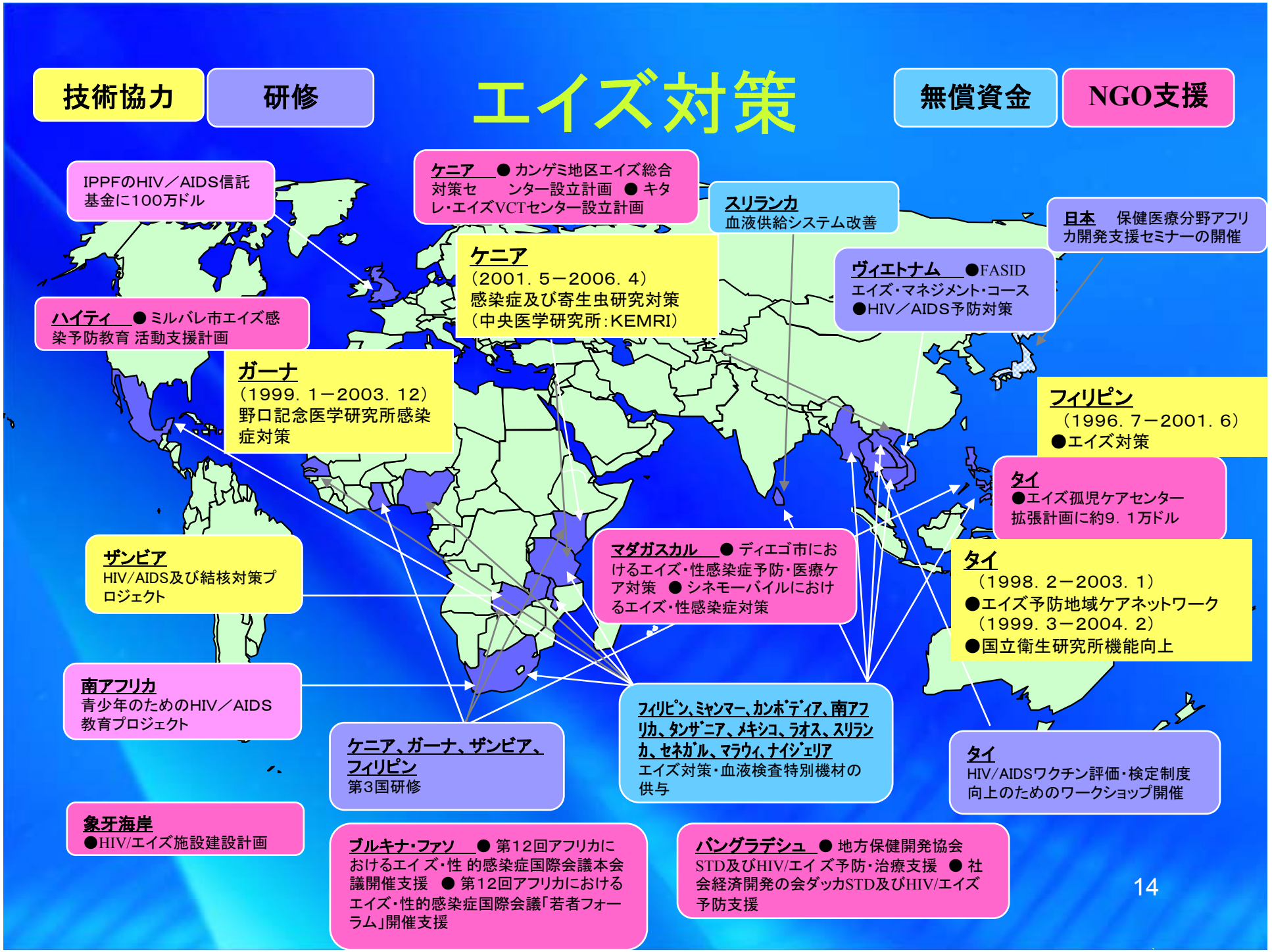
有償資金協力と
の連携

草の根貢献、
人材育成

技術協力　研修

エイズ対策

無償資金　NGO支援



IPPFのHIV／AIDS信託基金に100万ドル

ケニア　● カンゲミ地区エイズ総合対策セ　ンター設立計画　● キタレ・エイズVCTセンター設立計画

スリランカ
血液供給システム改善

日本　保健医療分野アフリカ開発支援セミナーの開催

ケニア
（2001．5－2006．4）
感染症及び寄生虫研究対策
（中央医学研究所：KEMRI）

ヴィエトナム　●FASID
エイズ・マネジメント・コース
●HIV／AIDS予防対策

ハイティ　● ミルバレ市エイズ感染予防教育 活動支援計画

ガーナ
（1999．1－2003．12）
野口記念医学研究所感染症対策

フィリピン
（1996．7－2001．6）
●エイズ対策

タイ
●エイズ孤児ケアセンター拡張計画に約9．1万ドル

ザンビア
HIV/AIDS及び結核対策プロジェクト

マダガスカル　● ディエゴ市におけるエイズ・性感染症予防・医療ケア対策　● シネモーバイルにおけるエイズ・性感染症対策

タイ
（1998．2－2003．1）
●エイズ予防地域ケアネットワーク
（1999．3－2004．2）
●国立衛生研究所機能向上

南アフリカ
青少年のためのHIV／AIDS教育プロジェクト

ケニア、ガーナ、ザンビア、フィリピン
第3国研修

フィリピン、ミャンマー、カンボディア、南アフリカ、タンザニア、メキシコ、ラオス、スリランカ、セネガル、マラウィ、ナイジェリア
エイズ対策・血液検査特別機材の供与

タイ
HIV/AIDSワクチン評価・検定制度向上のためのワークショップ開催

象牙海岸
●HIV/エイズ施設建設計画

ブルキナ・ファソ　● 第12回アフリカにおけるエイ ズ・性 的感染症国際会議本会議開催支援　● 第12回アフリカにおけるエイズ・性的感染症国際会議「若者フォーラム」開催支援

バングラデシュ　● 地方保健開発協会STD及びHIV/エイ ズ予防・治療支援　● 社会経済開発の会ダッカSTD及びHIV/エイズ予防支援

結核：　DOTS拡大のための技術移転、人材育成、薬剤・検査機材供与など

マラリア：　検査機材・ITN供与、技術移転、人材育成など

寄生虫（土壌伝播線虫、フィラリア、ギニア虫、シャーガス病、住血吸虫症など）

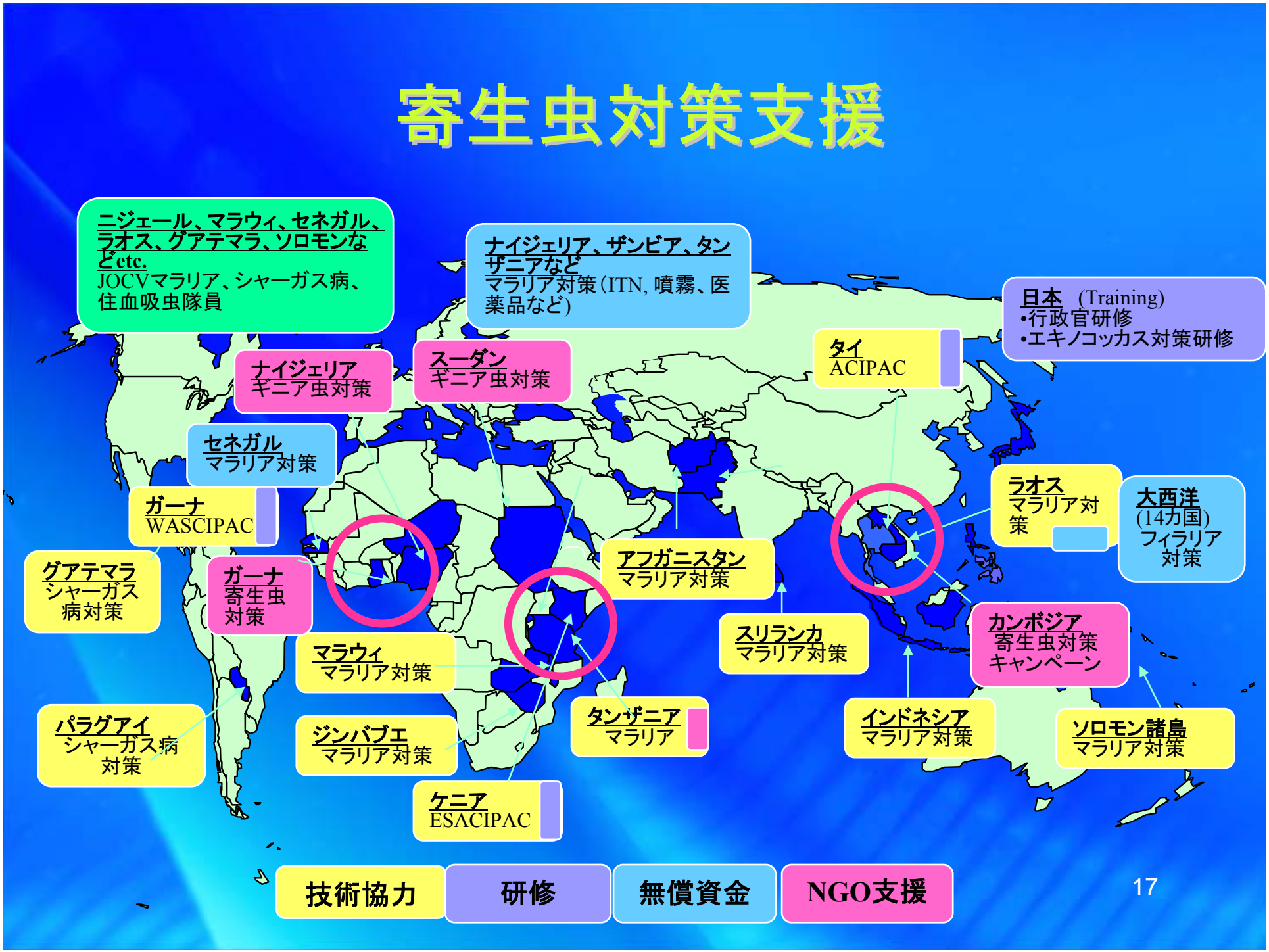
ポリオを含むVPDs：ワクチン・CC供与、技術移転

その他：

結核対策

中国
貧困地域結核抑制計画
抗結核薬によるDOTS治療
(無償資金協力)
日本
人材育成(結核対策に関わる検査技師、臨床医、行政担当者)
イエメン
(1999．8－2004．8)
結核対策
ガーナ
(1999．1－2003．12)
野口記念医学研究所感染症対策
ネパール
(2000．9－2005．9)
地域の結核及び肺の健康
フィリピン
(2002．9－2007．8)
結核対策向上
アフガニスタン
国立結核対策センター
パキスタン
●結核コントロール
カンボジア
(1999．8－2004．7)
結核対策
ザンビア
(2001．3－2006．3)
HIV/AIDS及び結核対策
ベトナム
● ハイズオン結核病院医療機材整備計画に約9万ドル
技術協力
研修
無償資金
NGO支援

寄生虫対策支援


ニジェール、マラウィ、セネガル、ラオス、グアテマラ、ソロモンなどetc.
JOCVマラリア、シャーガス病、住血吸虫隊員
ナイジェリア、ザンビア、タンザニアなど
マラリア対策（ITN, 噴霧、医薬品など）
日本 (Training)
•行政官研修
•エキノコッカス対策研修
タイ
ACIPAC
ナイジェリア
ギニア虫対策
スーダン
ギニア虫対策
セネガル
マラリア対策
ガーナ
WASCIPAC
ラオス
マラリア対策
大西洋
(14カ国)
フィラリア対策
グアテマラ
シャーガス病対策
ガーナ
寄生虫対策
アフガニスタン
マラリア対策
スリランカ
マラリア対策
カンボジア
寄生虫対策キャンペーン
マラウィ
マラリア対策
タンザニア
マラリア
インドネシア
マラリア対策
ソロモン諸島
マラリア対策
パラグアイ
シャーガス病対策
ジンバブエ
マラリア対策
ケニア
ESACIPAC
技術協力
研修
無償資金
NGO支援

新たな課題への対応ーSARS

- 二国間援助：20億円
  - 国際緊急援助隊（ベトナム・中国・台湾）
  - 医療機材等の供与
    - 中国・モンゴル・東南アジア6カ国
    - 個人防護装備、検査機材、検体保存・運搬機材、医薬品、空気清浄・殺菌装置など
- 国際機関を通じた支援：600万ドル
  - WHOとの連携
  - ADB「SARS緊急地域支援」
  - 世銀「SARS防止・抑止支援」

鳥インフルエンザ

- カンボジア、インドネシア、ベトナム、ラオス、タイ
- 草の根無償、緊急無償、特別医療機材供与などにより、防疫用機材・物資、医薬品などの供与
- 専門家派遣